

一三三二番

伊勢いせの海うみの 海人あまの島津しまつが 鮑玉あはびたま 取りとて後のちも
か 恋こひの繁しげけむ

一三二三番

海わたの底そこ 沖おきつ白玉しらたま よしをなみ 常つねかくのみや
恋こひ渡わたりなむ

一三二四番

葦あしの根ねの ねもころ思おもひて 結むすびてし 玉たまの緒をと
いはば 人ひと解ととかめやも

一三二五番

白玉しらたまを 手てには巻まかずに 箱はこのみに 置おけりし人ひと
そ 玉たま嘆なげかする